



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754

伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第478号

2020年10月26日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

高津支所の移転問題が浮上

高津支所の今後の在り方について、今年1月末に八千代市財務部から議員に配布された資料「耐震性が不足している施設の運営について」の別紙に「耐震化を推進する施設」として位置づけられているものの、「令和2年度に民間施設への移転も含めた検討を進め、令和3年度に移転予定」と記載されていました。日本共産党市議団は、移転について担当部署から状況を確認したところ、緑が丘駅周辺への移転を打診していることがわかりました。

「支所をなくさないで！」の声が次々に

市の方針によって、高津地域から支所がなくなる可能性があるにも関わらず、地域住民や自治会などへの説明がされず、地域住民の大多数は、高津支所が移転することすら知りませんでした。

日本共産党市議団は、宣伝カー、チラシなどの配布で、高津支所が移転することを知らせてきました。住民から「高齢者にとって緑が丘駅は遠い」、「平屋だから耐震化なんて簡単でしょ?」、「免許証を返納、ぐるっと号もないので不便」などなど、高津支所をなくさないでの声が寄せられました。

市民の声が市の方針を変えた

日本共産党は9月定例議会で、高津支所の移転問題について質問を行い、市は「地域住民の意見を踏まえ、支所機能の一部をもつ連絡所の設置も検討」と答弁しました。

住民が声を上げることで、検討とは言え、高津地域に施設を残すことを示唆したことは一歩前進と言えます。しかしながら、まだ検討対象に含まれただけの状態であること、そして支所が連絡所になることで取扱業務が制限されるのではないかと心配されます。

支所の存続こそ住民の願い

日本共産党市議団は、担当課に対し支所と連絡所の取扱業務の違いは何か、船橋市が一覧で明確に説明していることをあげて、八千代市も一覧で説明するように求めました。一方で、支所と連絡所の職員数を調べてみますと、市内5カ所の支所では正規職員が3～6名に対して、市内1カ所の連絡所では職員数が1名であり、それも2名の再任用職員が交互に対応していることから取扱業務は相当制限されるのではと推測されます。

以上のことから、高津支所が連絡所になった場合には、多くの業務が制限されるのではないかと心配されます。



日本共産党は住民の声に応え、高津地域に支所として存続できるよう今後とも奮闘する決意です。